

地域に所在する歴史的建造物を活かした街づくり

| | |
|--------------|---|
| このテーマのキーワード | 歴史遺産の保存再生、観光振興による地域の活性化 |
| 関連するSDGs開発目標 |    |

研究内容(社会背景・目的、概要、期待される効果)

(社会背景・目的)

高度経済成長期以降、首都圏などを中心に積極的な都市開発が進められ、地域に根付いた歴史と文化は失われていきました。そのような最中、ユネスコが主導した「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」が浸透し、歴史・文化・自然遺産を活かした街づくりの推進がグローバルな視点からも希求され、始動し始めました。

(概要)

- ① 悉皆調査で点在する歴史的建造物の状況確認をします。
- ② ランドマーク的歴史的建造物の詳細調査を実施します。
- ③ 歴史遺産を活かした街の段階的整備方針案の策定や、歴史的建造物の修理設計・技術指導を行います。

(期待される効果)

地域に残る歴史的建造物の発見と再評価が行え、その街の価値を高める財産となることを学術的にも明らかとし、具体的な復原整備や活用対応を実施することで地域に多くの人が集い、雇用創出の可能性をもたらします。



旧忍町信用組合店舗（修理前）



旧忍町信用組合店舗（復原整備後）

想定される適用分野・用途・業界

- 地方公共団体（教育委員会文化財保護部門、都市計画系部門）や観光協会などで歴史遺産を有効活用し、新たな街の発展に寄与しようとする分野。

産業界へのアピールポイント

- 歴史的建造物の保存再生に際し、実務家教員主導による幅広い具体的な技術提案により、産官学の協働事業にも発展させることが可能となります。

建設学科 横山 晋一 教授

このテーマに関するお問合せ ものづくり研究情報センター
E-mail : mric@iot.ac.jp TEL : 048-564-3880